

第3回岩手県地域公共交通活性化協議会沿岸地域部会 議事要旨

1 日時

平成30年12月18日（火）14:00～16:00

2 場所

宮古市（宮古市役所 2階2-1会議室）

3 主な議事内容

- (1) 岩手県地域公共交通網形成計画の素案について
- (2) パブリックコメントについて

4 主なご意見等

- (1) 岩手県地域公共交通網形成計画の素案について
 - ・ 接続拠点の環境整備について、待合環境の整備として上屋（屋根）の設置が必要であるため、県の補助対象となるようお願いしたい。
運転免許証を返納した方や、高齢者に対する県の施策が見えないため、バス事業者に対する助成等による高齢者対策を施策として考えて欲しい。
⇒（事務局）上屋の設置に対する補助等を含めて、市町村への支援策の検討会を来年度に開催することとしており、県の施策についてはその中で検討をしていきたい。
 - ・ 実施事業の「情報通信技術等を活用した公共交通」について、既存のSuicaの利用を目指しているのか。もう少し具体的に書いてもいいのではないかと。
⇒（事務局）JR東日本の2in1カードの話もあるが、今後の動向が不明確であるため、現段階では「検討」という表現とした。
⇒JR東日本、三陸鉄道、バス事業者が一つのICカードで利用できることが理想だと思う。
 - ・ 実施事業について、「被災地特例終了と地域内公共交通の維持確保を踏まえた市町村支援策の検討・実施」ということで、来年度検討するとのことだが、現段階でどのような支援策が想定されるのか。
⇒（事務局）現段階で具体的な施策案がある訳ではないが、例えば被災地特例が終了したことによって広域路線が地域内公共交通に転換した場合、単純に市町村の負担となっていくのか、という点に

ついて内部で議論している。

- ・ 実施事業について、どれが重点施策か見えてこないため、それぞれに新規、継続、拡充といった記載が必要だと思う。
⇒（事務局）検討する。
- ・ 会議の開催や補助金等、県がこれまで行っている事業の継続はあるが、例えば運転士確保や再配置に県はどのように取り組むのか。
計画の達成状況の評価について、単年度で取り組み検証するものや複数年で取り組むもの等、事業の中身によって進め方を明記すると良いと思う。
どの事業を優先的に進めていくのか。一斉に進めるのか、幹線路線に係る分を優先するのか、被災地特例が切れる沿岸部を優先とするのか、といったメリハリが欲しい。
- ・ 県の政策プランでは事業ごとに工程表があるが、そのようなものがあってもいいのではないかと思った。
- ・ 利用促進を図るうえでは、ＩＣカードの導入やバスロケーションシステム整備など、利用環境の改善が必要となると思う。

（２）パブリックコメントについて

- ・ 計画策定後に誰が担うのかが重要な部分であり、トータルマネジメントとして、県だけではなく、市町村や各事業者等が全員で実施していく視点が非常に重要だと思う。
計画策定前の地域別部会は今回で最後の予定だが、今後ご意見をいただいて、地域の実情に合わせた制度設計を更に進めて欲しい。